

宇宙開発の現状報告

(平成 19 年 2 月 21 日(水) ~ 平成 19 年 2 月 28 日(水))

平成 19 年 2 月 28 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発委員会の動き

2 月 27 日(火)

- 第 9 回計画部会

【松尾委員長、青江委員、池上委員、森尾委員】

宇宙開発に関する国内の動向

2 月 24 日(土)

- H- A ロケット 12 号機打上げ成功

【独立行政法人宇宙航空研究開発機構】

宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、平成 19 年 2 月 24 日 13 時 41 分(日本時間)に、種子島宇宙センターから情報収集衛星 2 機(レーダ 2 号機および光学 3 号機実証衛星)を搭載した H- A ロケット 12 号機を打ち上げた。12 号機は正常に飛行し、情報収集衛星 2 機を分離したことを確認した。

2 月 20 日(火)

- 露下院、ギアナでのソユーズ打上げ等の露・仏協力協定批准を承認 【露、仏】

2 月 16 日(金)(現地時間)付報道によると、ロシア議会下院は、ロシア政府及びフランス政府間における仏領ギアナ宇宙センター(CSG)でのソユーズ ST ロケット打上げ及びロケットの開発・製造・利用分野の長期協力協定批准に関する法案を可決した。同協定の有効期限は 2016 年までで、10 年ごとの延長を可能としている。

2 月 21 日(水)

- CNES 理事長、2006 年の評価と 2007 年の展望に関する会見を実施 【仏】

仏国立宇宙研究センター(CNES)理事長は記者会見を実施した。2006 年の評価及び 2007 年の展望についての主な項目は以下の通り。

2006 年の評価

1. アリアン 5 ECA ロケットの 5 回の打上げ成功
2. ベガロケット第一段の P80 エンジンの初燃焼試験成功
3. NASA との共同地球観測ミッション「CALIPSO」の打上げ成功
4. 地球観測衛星「ジェイソン 1 (Jason-1)」運用が 5 年を超える
5. 軍事通信衛星「シラキューズ 3B (Syracuse-3B)」の打上げ成功

2007年の展望

1. 欧州宇宙政策の承認
2. 5～6回のアリアン5の打上げ
3. トゥールーズのCNES管制センターを使用したISS貢物輸送機「ATV」の初飛行、欧州実験モジュール「コロンバス(Columbus)」打上げ
4. P80エンジンの2回目の燃焼試験
5. 新規プロジェクトの実施

を見極めるには約1ヶ月かかる見込みで、次の打上げ機会は、4月下旬から5月下旬とのこと。

2月26日(月)

- イランがサウンディングロケット打上げ実施との報道 【イラン】
2月25日(日)(現地時間)付報道によると、イランは研究目的のサウンディングロケットを打ち上げたとのこと。ロケットは高度150 kmまで上昇した後、パラシュートを用いて着地した。イランは2005年10月、小型衛星「Sinah(Sina)-1」をロシアのコスモス3Mロケットで打ち上げている。

2月28日(水)

- NASA、スペースシャトル「アトランティス号」の打上げ延期を発表 【米】
2月28日(水)(日本時間)未明、米国航空宇宙局(NASA)は、3月15日(木)に予定していたスペースシャトル「アトランティス号」の打上げを事実上延期することを発表した。2月26日(月)(米国時間)夕方、ケネディ宇宙センター周辺に降ったひょうにより、スペースシャトルの外部燃料タンクが損傷を受けたことから、スペースシャトルを射点から組立棟(VAB)へ戻し、詳細点検及び修理を行う必要があると判断したため。NASAによれば、詳細